

フロンティアサイエンティスト 特別コース

4年生・大学院レベルの研究を

先取り!

+ α

の学習でフロンティアサイエンティストになる



コース生 募集の概要

定員 1学年につき理学部定員の10%(15名)程度
(応募者の中から選抜します。)

選抜 2年次進級時

コース履修要件 次のうち、コースへの登録を申請し、2年次進級時の選抜により許可された学生が参加できます。
○理学部学生
○マッチングプログラムコース学生のうち、理学部において課題研究(卒業研究)を志望する学生

※コース開講科目の一部は、1年生から受講可能です。



詳しくはお問い合わせください。

岡山大学理学部 フロンティアサイエンティスト特別コース

岡山大学理学部事務室 フロンティアサイエンティスト特別コース担当
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
TEL: 086-251-8970 FAX: 086-251-7777
MAIL: frontier_sci@adm.okayama-u.ac.jp

ホームページ

<http://www.science.okayama-u.ac.jp/fs/>



フロンティアサイエンティスト 特別コースとは？

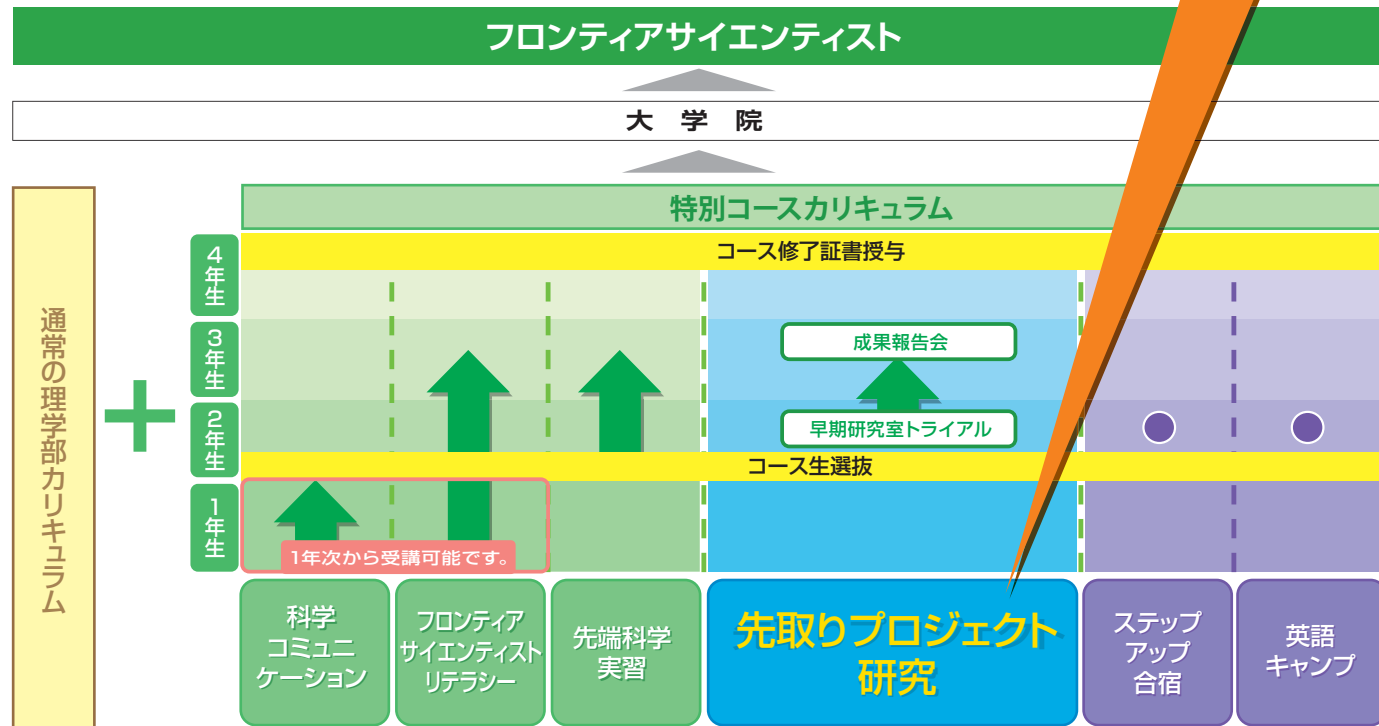
コースの目的

幅広い自然科学の教養、自立した倫理観と判断力、広く社会へ発信できるコミュニケーション能力を持ち、将来、科学の最前線で活躍できる研究者・技術者・教育者の育成を目指しています。

フロンティアサイエンティストとは？
新領域やエネルギー・環境問題などの科学の最前線で活躍する研究者・高度専門技術者などです。

3つのメリット

① 4年生・大学院レベルの研究を「先取り」して行うことができます。



② 教員、大学院生が研究支援を行います。

先取りプロジェクト研究を行う際、助言・指導を受けられます。

③ コース生専用の学習スペースを利用できます。

自主学習やミーティングが可能です。パソコンや英語教材も充実しています。



message 皆さんへの メッセージ

私は本コースで博物館や神岡宇宙素粒子研究施設などの学外施設へ実習に行き、分野の垣根を越えて幅広い知識を得ることができました。私が現在行っている研究に、本コースの経験は様々な形で役立っています。本コースに参加することで幅広い知識や他学科の友人ができましたが、失うものではありませんでした。科学研究の最先端を学びたい方はぜひ参加してみてください。

藤原 弘和 大学院自然科学研究科(博前)1年次生 平成25年コース修了(物理学科卒業)



最先端の研究現場において未知の世界を探究してみたいと、多くの皆さんはお考えになっていると思います。そういった希望を実現していただくために、フロンティアサイエンティスト特別コースを設けました。本コースで、夢を叶えるための一歩を踏み出しましょう。

岡山大学理学部長 田中 秀樹



大学でやりたいことは何ですか。自分たちで自主的に取り組んだ研究を、全国大会で発表しませんか。この特別コースは、通常のカリキュラムに加えて、より進んだ学習や研究に取り組むチャンスを提供するシステムです。積極的な参加を待っています。

フロンティアサイエンティスト特別コース
実施推進室長 味野 道信

1単位

●科学コミュニケーション

プレゼンテーション、ディスカッション、e-Learning(英語)によりコミュニケーション能力の向上を図ります。
(1年生)



▲メタマテリアルに関する授業風景

1単位

●フロンティアサイエンティストリテラシー

学内外の講師による講義を通じ、知的財産、科学倫理など科学研究現場と実社会との関連を学びます。
(1年生)



▲「二足のワラジ：研究者と高校教諭」の授業風景

1単位

●先端科学実習

学内外の先端研究機器や研究施設(海外を含む)での実習・見学を通じ、最先端の高度な研究手法や環境を体験します。
(2年生)



▲「電子顕微鏡実習」の様子

◎海外実習

平成24年度と25年度はハワイでの実習を行いました。



▲ハワイ島キラウエア火山を見学

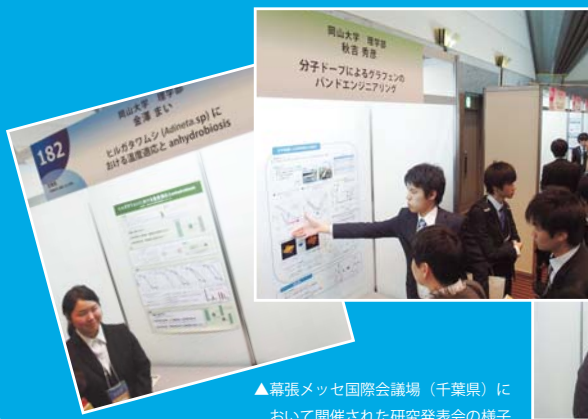
●先取りプロジェクト研究

コース生自ら研究計画を立案

5単位

学生自身が立案したテーマについて、アカデミックアドバイザー(教員)の助言を受けながら自主研究を実施します。研究成果は全国大会やコース主催の成果報告会などで発表を行います。
(3年生)

★第3回サイエンス・インカレ



▲幕張メッセ国際会議場(千葉県)において開催された研究発表会の様子

★第2回サイエンス・インカレで
協力企業賞(富士フィルム賞)を受賞

野田 詩織 平成25年コース修了(生物学科卒業)



▲受賞の様子

●ステップアップ合宿

数日間の合宿でディスカッションや発表を行い、研究分野の異なる学生同士が刺激を受け合いながら、研究意識を高めます。
(2年生)



▲附属臨海実験所における実習風景

●英語キャンプ

留学生と一緒に英語のみの環境で合宿を行い、プレゼンテーションやグループ活動などにより英語能力向上のきっかけとします。
(2年生)



▲参加学生集合写真